

正しい名刺交換

初めて会った人とあいさつするとき、まず名刺交換をすることが一般的です。したがって、自分の第一印象は、名刺交換の時に決まると言っても過言ではありません。

以下に正しい名刺交換の方法を述べます。

○ 名刺交換に備える

自分が相手を訪問するとき、来客をお迎えするときには、自分から名刺交換するのが原則です。自分の所属、名前を名乗り、名刺を相手に差し出します。すぐに差し出せるように名刺入れから取り出しておきましょう。訪問した先で、相手の上司や同僚などに照会される場合があるので多めに名刺を取り出しておきましょう。自分から訪問しておきながら名刺を切らすことのないように、多めに用意しておきましょう。

突然の訪問客で、相手から先に名刺を出された場合には、「恐れ入ります」と言って、まず受け取り、すぐに自分の名前を名乗りながら、自分の名刺を渡しましょう。なお、自分の名前が読みづらい名前の場合には、ふりがなをふっておきましょう。

○ 名刺の渡し方

名刺交換は立って行います。できるだけ机やイスなどの障害物を挟まないようなところで、お互いがやや腕を曲げて名刺を渡し合える距離まで近寄って渡します。名刺を両手で、指が名刺の字にかからないように持ち、字が相手に正しく見える方向で、みぞおちぐらいの高さで渡します。

名刺を渡す側が複数いる場合には、上司に当たる人から名刺交換します。また、名刺を渡す相手が複数いる場合には、上司に当たる人から渡すか、間に紹介者がいる場合には、紹介された順番に渡します。

○ 名刺の受け取り方

指が名刺の字にかからないようにして両手で受け取り、名刺の書かれた情報にざっと目を通しましょう。相手の名前を聞きそびれたら、又は名刺を見ても名前の読み方がわからないときには、名刺を見ながら名前を確認しましょう。受け取った名刺を見ずに、すぐに名刺入れやポケットにしまうのは失礼になります。名刺交換及びその後のあいさつが終わるまでは、相手から視線をはずさず、名刺を受け取った位置のまま持っています。最近イラストや写真を入れた特徴ある名刺もあります。そのような名刺を受け取った時は、「きれいな名刺ですね」などと感想を述べてもよいでしょう。

なお、名刺を差し出したとき、相手も名刺を差し出すことがあります。名刺は両手で

渡し、両手で受け取ることが原則ですが、このようなときには、右手で名刺を渡し、左手で名刺を受け取ります。名刺を受け取ったら、すぐに右手を添え、両手で名刺を持ちます。

○ 受け取った名刺の扱い方

名刺交換が終わった後、座って打合せなどを行うときには、受け取った名刺をテーブルの上に置いておき、打合せが終わってから名刺入れにしまうとよいでしょう。複数の人から名刺を受け取ったときには、相手の座っている順番通りに名刺を置き、名前と顔を覚えるようにしましょう。

なお、会った日時、場所などの他、相手の名前と顔を一致させるため、名刺に相手の似顔絵や特徴を書き込みと便利ですが、相手の前で書き込むのは失礼にあたりますので、打合せなどが終わってからにしましょう。